FIOR & GENTZ

e-Cast デジタル鋳造補助装置 JP

目次 **ページ**

1 情報 3
2. 安全のためのご注意 3
2.1 安全情報の分類 3
2.2 e-Castの安全な取扱いに関する説明 3
3. 適応 5
4. e-Castの機能 5
5. 納品範囲 WE3400 5
6. e-Castオペレーター用デバイスの使用開始 6
7. e-Castセンサー 7
7.1 センサータイプ 7
7.2 センサーの起動 7
7.3 輸送中のセンサーの保管 7
7.4 センサーの取付け 8
7.5 電池の交換 8
8. e-Castオペレーター用デバイスのメインメニュー 8
8.1 New measurement (新規測定) 9
8.2 Saved measurements (保存済み測定) 10
8.3 Delete measurements (測定を削除) 10
8.4 Settings (設定) 11
8.4.1 Display options (表示オプション) 11
8.4.2 Sound options (音声オプション) 11
8.4.3 Display brightness (表示の明るさ) 11
8.4.4 Language (言語) 12
8.4.5 Device info (デバイス情報) 12
8.4.6 Update sensors (センサーのアップデート) 12
8.4.7 Calibrate sensors (センサーの校正) 12
9. 充電式電池の表示/電池の充電状態 13
9.1 オペレーター用デバイスの充電式電池の充電状態 13
9.2 センサーの電池の充電状態 13
10. e-Castオペレーター用デバイスの充電 13
11. e-Castオペレーター用デバイスのアップデート 13
12. e-Castオペレーター用デバイスの汚れ除去 14
13. e-Castセンサーの汚れ除去 14
14. 作製技法に関するアドバイス 14
15. 新規測定の際の簡単ガイド 15
16. 記号とマーク 15
17. 廃棄 15
18. 法的情報 15

1. 情報

この使用説明書マニュアルは、整形外科技術の有資格専門職者の方を対象としており、整形外科技術の有資格専門職者にとって明らかな危険性については記載されていません。最大限の安全性を達成できるよう、製品の使用・メンテナンスについて患者やケアチームに指導を行ってください。

2. 安全のためのご注意

2.1 安全情報の分類

⚠ 危険	危険な状況となる可能性についての情報です。回避されない場合、死亡や不可逆的な怪我につながります。
⚠ 警告	危険な状況となる可能性についての情報です。回避されない場合、治療が必要になる治癒可能な怪我につながります。
⚠ 注意	危険な状況となる可能性についての情報です。回避されない場合、治療が不要な程度の軽い怪我につながります。
通告	起こり得る状況についての重要な情報です。これらを回避されない場合、製品の破損につながることがあります。

2.2 **e-Cast**の安全な取扱いに関する説明

⚠ 警告

オペレーター用デバイスの不適切な取扱いによる怪我のリスク
この使用説明書に記述されている説明に従ってオペレーター用デバイスを使用してください。このオペレーター用デバイスは、リチウムイオン電池内蔵型の精密な電子デバイスです。特に以下の点に注意してください：
- 強力な熱源または火炎との接触を避けること。
- 直射日光下でこのオペレーター用デバイスの充電をしないこと。
- このオペレーター用デバイスを開けないこと。

通告

不適切な取扱いによる機能の故障
このオペレーター用デバイスを高湿度にさらさないでください。また、水に浸さないでください。

通告

電池の不適切な交換による機能の故障
センサーの電池を、この使用説明書に記載されているとおりに正しく交換し、この使用説明書で指定されているタイプの電池を使用してください。

通告

Oリング欠失による機能の故障
この使用説明書に記載されているとおりに、センサーを閉じる前にOリングを入れ直してください。Oリングがないと、センサーに水が浸入する恐れがあります。

通告

不適切な衝撃による機能の故障
センサーの取扱いには注意してください。落下やハンマーの打撃など、大きな衝撃を受けないようにしてください。

通告

不適切な取扱いによるネガ型の不備
このオペレーター用デバイスの取扱いは、整形外科技術の有資格専門職者に限られます。

通告

センサーの取付けのゆるみによるネガ型の不備
ネガ型作製中は常時、センサーがしっかりと取り付けられているように確認してください。

通告

センサーなしで測定を続けることによるネガ型の不備
センサーをネガ型からいったん取り外した後は、必ず新しい測定を開始してください。

通告

不適切な校正によるネガ型の不備
この使用説明書の記載に従ってセンサーを校正してください。必要に応じてテクニカルサポートにお問い合わせください。校正については以下の点に注意してください：
- センサーの校正は年に1回、および電池の交換後に行ってください。
- センサーの校正は、安定した平らな面 (適切なテーブルなど) を使用してください。
- 鋳造の残渣を取り除き、センサーを湿った布できれいにし、表面に凹凸が生じないようにしてください。
- 校正中はセンサーの端を保持し、センサーの表面が過度に押し込まれないようにしてください。

通告

オペレーター用デバイス、センサー、電池の、不適切な取扱いによる破損
この使用説明書に記述されている説明に従って、オペレーター用デバイスおよびセンサーを使用してください。特に以下の点に注意してください：
- 動作温度：+5～+45°C
- 保管温度：-20～+45°C

3. 適応

e-Castは、関節の角度をチェックするために使用します。オペレーター用デバイスを使用すると、ネガ型の作製中に脚のポジションを調整できます。これにより、患者が横たわっている状態でも立っている状態でも、プロ仕様の型を作製し、ポジションを簡単に修正することが可能です。**e-Cast**の取扱いは、整形外科技術の有資格専門職者に限られます。

4. e-Castの機能

e-Castは、ネガ型を作製する際に、関節の角度をチェックし修正できるように開発されたものです。「e」はelectronic (電子式) を意味します。装具の種類によっては、各測定ごとに2つまたは3つのセンサーが必要となり、これらを患者の足、下腿、および大腿に装着する必要があります。**e-Cast**オペレーター用デバイスは、ネガ型の理想的なポジションを保存し、型の作製時に患者の脚のポジションを適切に制御するのに役立ちます。

5. WE3400納品範囲

e-Castはケースに入って納品されます。このケースには、以下の品目が含まれます (図1):

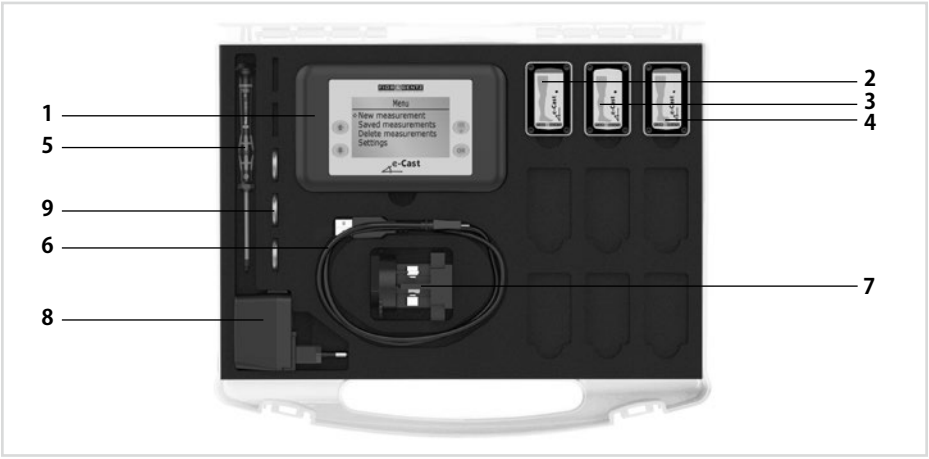

図1

項目	部品番号	品目
1	ET3400-T	オペレーター用デバイス
2	ET3410-WE	大腿用センサー
3	ET3420-WE	下腿用センサー
4	ET3430-WE	フットピース用センサー
5	WZ2067-T08	ドライバー (六角星型ねじ頭ソケット) T8 x 60mm
6	ET0830-2450	**e-Cast**センサー用電池3個*
7	ET0710	充電ケーブル
8-9	ET0780-01	電源装置 (ヨーロッパ、米国/日本、英国、オーストラリア向けのアダプターを含む)

項目	部品番号	品目
図なし	KL4200	センサー固定用の接着ドット (48個)
図なし	KL4601	機械的旋回点用ワッシャー (粘着性、28個)

* この物品の再注文の際は、販売単位として電池1個だけが納品されます。

6. e-Castオペレーター用デバイスの使用開始

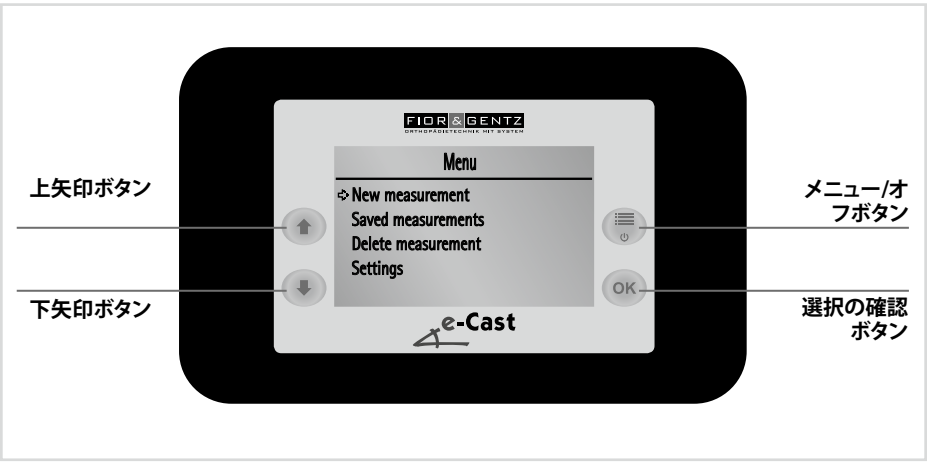

図2

1 このオペレーター用デバイスは、充電式電池と共に納品されます。バッテリー残量が少ない場合は、最初に、同梱のケーブルを使用してオペレーター用デバイスの充電を行います。その後、すぐに使用できる状態になります。
2 メニューボタンを押すと、デバイスがオンになります。これで4つのメニュー項目が表示されます：**New measurement (新規測定)**、**Saved measurements (保存済み測定)**、**Delete measurements (測定を削除)**、**Settings (設定)**。
3 このオペレーター用デバイスまたは接続されたセンサーを20分以上使用しないと、オペレーター用デバイスは自動的にオフになります。また、メニュー/オフボタンを2秒間長押しすることで、デバイスをオフにします。

7. e-Castセンサー

7.1 センサータイプ

大腿用センサー、赤色

下腿用センサー、黄色

足エリアのセンサー、緑色

図3

センサーセットは、異なる色 (交通信号と同じ) でマークされた3つのセンサーで構成され、脚の特定の位置に取り付けられます。赤色のセンサーは大腿に取り付け、黄色のセンサーは下腿に、緑色のセンサーは足に取り付けます (図3)。

7.2 センサーの起動

センサーは、軽く振ることで起動します。ライトが点滅することで起動したことがわかります。オンになっているオペレーター用デバイスに接続されていない場合は、1分以内に自動的にオフになります。オンになっているオペレーター用デバイスに接続されている場合は、オペレーター用デバイスがオン状態である限り、センサーもオンのままです。

7.3 輸送中のセンサーの保管

センサーを輸送する際 (例えば車の中) は、振動で起動する可能性があります。電池容量を消費しないようにするため、輸送中はセンサーをスリープモードにしてください。センサーをスリープモードにするには2つの方法があります:

- センサーが上下逆さになるようにケースを置きます。
- ケースはセンサーを下向きにして (印刷面が下を向くように) 置きます。

e-Castケースのステッカーにも、センサーの保管に関する情報が記載されています。

7.4　センサーの取付け

3つのセンサーそれぞれに、同梱の接着ドットを1つずつ貼り付けます。センサーを、圧縮フィルムで包まれた脚の対応する位置に装着します (図4)。センサーがしっかりと固定されており、逆さになっていないことを確認してください。複数のセンサーセットを使用する場合、各測定ごとに必ず赤、黄、緑のセンサーを使用し、同じ色のセンサーを複数使用しないように注意してください。AFOを作製するには、下腿用センサー (黄色) と足用センサー (緑色) のみが必要です。KOを作製するには、大腿用センサー (赤色) と下腿用センサー (黄色) のみが必要です。型作製の製造技法に関する詳しい情報は、FIOR & GENTZウェブサイトのオンラインチュートリアルをご覧ください。

図4

7.5　電池の交換

1　センサーの電池残量が空になった場合は、自分で交換できます。交換するには、まずセンサーを湿った布で拭くか、流水で洗い流します。その後、完全に乾かします。
2　センサーの前面にある4本の皿小ねじを、付属のT8六角星型ねじ頭ドライバーで外します。
3　センサーを開けます。例えば、センサーの下の隙間にドライバーを差し込み、カバーをこじ開けます。
4　プリント基板を慎重に取り出し、裏返します。電池はプリント基板の裏側にあります。細い道具を使ってそっと押し出すことができます。
5　タイプ**CR2450**の新しい電池を入れます。
6　カバー、ハウジング、Oリングの間に蓄積したプラスターを、乾いた布でていねいに除去します。
7　センサーを閉じる際は、Oリングが正しく配置されていることを確認してからカバーを戻し、センサーにねじで固定します。

センサーを軽く振ってみて点滅する場合は、電池の交換が問題なく完了しています。

8.　e-Castオペレーター用デバイスのメインメニュー

オペレーター用デバイスのメインメニューでは、新規測定の開始、保存済み測定の表示、測定の削除、設定へのアクセスができます。メインメニューを表示させるには、メニューボタンを押します。

以下のメニュー項目が表示されます (図5)：

- New measurement (新規測定)
- Saved measurements (保存済み測定)
- Delete measurements (測定を削除)
- Settings (設定)

メインメニューを終了するには、メニューボタンを押します。これでボタンは「戻る」ボタンとして機能します。

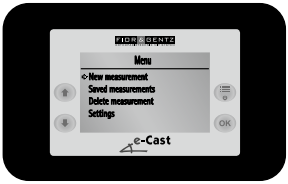

図5

8.1 New measurement (新規測定)

ここで新しい測定を開始できます。測定を開始するには、オペレーター用デバイスとセンサーセットが必要です。装具タイプに必要なセンサーを患者の脚に装着した後 (7.4項参照)、測定を開始できます。下記の手順に従います:

1 メニュー項目**New measurement (新規測定)** を選択します。
2 すると、**Select patient data (患者データを選択)** (図6) の画面になります。ここでは2つのオプションがあります:
   - 新規患者データを作成する:**<New>(新規)** を選択して、作製する装具タイプを決めます。KAFO、AFO、KOのいずれかを選び、左脚か右脚かを選択できます。次に、患者のイニシャル (2文字) を入力し、**Save (保存)** を押して確認します。
   - 以前作成した患者データを使用する:以前作成した患者データを選択する場合は、**Use connected sensors (接続されているセンサーを使用する)** または**Search for new sensors (新しいセンサーを探す)** を指定します。次に、患者のイニシャル (2文字) を入力し、**Save (保存)** を押して確認します。

図7

図8

3 オペレーター用デバイスが、センサーを探します。複数のセンサーセットがある場合は、オンにするセンサーセットは1つだけになるようにしてください。使用されていないセンサーは、動かされないまま1分が経過すると自動的にオフになります。オペレーター用デバイスはオンのセンサーに接続され、測定を開始できます。
4 患者の脚を水平なポジションに保ち、つま先を上向きにします。足は、後の装具に必要な外旋位にしてください (図7)。このポジションは、画面に**Press OK (OKを押す)** と表示されるまで維持する必要があります。**OK**を押します。患者に震えがある場合は、オペレーター用デバイスはその震えを認識します。平均値が計算され、**Recognised tremor (震えを検出)** と表示されます。**OK**を押して確認します。
5 患者に通常の姿勢で立ってもらいます (図8)。このポジションが正しいことを確認してください。このポジションはオペレーター用デバイスによって保存されるため、ネガ型の成否を左右するからです。患者は、**Press OK (OKを押す)** が再び表示されるまで、このポジションを数秒間動かずに維持する必要があります。震えがある場合は、オペレーター用デバイスはその震えを認識します。

図6

6 ポジションがこれで設定されました。このポジションを変更したい場合は、**Back (戻る)** を押します。このポジションを保持したい場合は、**Continue (続ける)** を押します。ここで患者は座るかまたは横になることができます。最初に、足関節のポジションが表示されます。矢印を使って、足関節ポジションと膝関節ポジションの表示を切り替えることができます (図9〜10)。バー上のドットは、その方向へ足関節または膝関節を動かす必要があることを示しています。ドットが中央にある場合は、正しいポジションに達しています (図10)。正しいポジションの表示の設定オプションは、8.4.1項および8.4.2項も参照してください。.

図9

これが測定のたびに行う手順です。オペレーター用デバイスに複数の測定値を同時に保存したい場合は、それに対応する数のセンサーセットが必要です。

8.2 Saved measurements (保存済み測定)

測定を実施した後、次回オペレーター用デバイスを起動した際に、最後の測定結果が表示されます。メニュー項目**Saved measurements (保存済み測定)** では、最後の測定結果を確認したり、存在する複数の測定結果から希望のものを選択したりできます (図11)。ただし、測定を継続するためには、センサーは確実に固定された状態を維持し、その間取り外してはなりません。

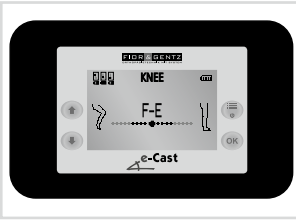

図10

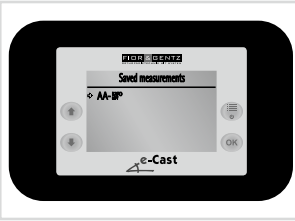

図11

8.3 Delete measurements (測定を削除)

このメニュー項目では、古い測定データを削除することができます (図12)。削除するには、削除したい測定データを選択し、**Yes (はい)** を押して確認します。

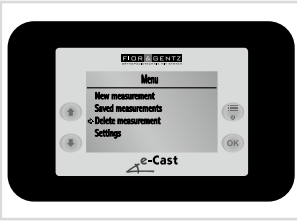

図12

8.4 Settings (設定)

8.4.1 Display options (表示オプション)

正しいポジションを表示する際には、常に足関節の背屈と底屈、および膝関節の屈曲と伸展を確認できます。メニュー項目**Display options (表示オプション)** (図13) で、足関節の回内・回外と膝関節の内反・外反を表示するかどうかを選択できます。これを行うには、矢印を配置または削除し、**Save (保存)** を押します。

納品時には、初期の操作を簡単にするため、表示オプションの**Ankle Pron.-Sup. (足関節の回内・回外)** および**Knee Varus-Valgus (膝関節の内反・外反)** はオフになっています。後で装具の機能性に決定的な役割を果たすのは、足関節の背屈と底屈、および膝関節の伸展と屈曲です。

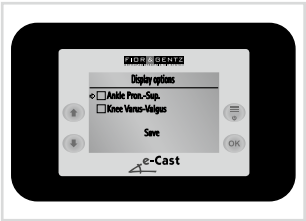

図13

8.4.2 Sound options (音声オプション)

このメニュー項目では、バー上のドットが保存されたポジションに近づいた際にビープ音を鳴らすかどうかを選択できます。実際のポジションが保存されたポジションと大きく異なる場合は、ビープ音は鳴りません。ドットが最初から中央にある場合、つまり正しいポジションをすぐに発見した場合は、ビープ音は鳴りません。
音声設定には4つの可能性があります:

- 正しいポジションに近づくと、常にビープ音が鳴る。
- 正しい屈曲・伸展と背屈・底屈に近づいた場合のみ、ビープ音が鳴る。
- 正しい回内・回外と内反・外反に近づいた場合のみ、ビープ音が鳴る。
- ビープ音は鳴らない。

これを行うには、矢印を配置または削除し、**Save (保存)** を押します (図14)。

図14

8.4.3 Display brightness (表示の明るさ)

表示の明るさは、矢印ボタン (図15) で0から5までの値を選択して設定できます。0に設定すると表示の照明が消えます。5が最大の明るさレベルです。**OK**を押して保存します。表示の明るさを低レベルに設定することで、充電式電池の寿命を長持ちさせることができます。

図15

8.4.4 Language (言語)

オペレーター用デバイスの言語を、メニュー項目**Language (言語)** で設定できます (図16)。ドイツ語または英語を選択できます。納品時にはドイツ語が設定されています。矢印で言語を選択し、**OK**を押して確認します。

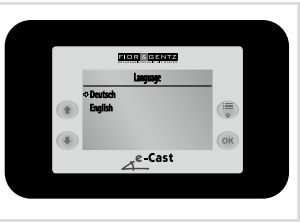

図16

8.4.5 Device info (デバイス情報)

ここでは、オペレーター用デバイスのバージョンを確認し、ご使用のオペレーター用デバイスが最新バージョンであるかどうかを確認できます。確認するには、FIOR & GENTZのダウンロードセクションにある「Software Updates」(図24のQRコードを参照) で、ご使用のデバイスのバージョンと最新のバージョンを比較してください。

オペレーター用デバイスに接続された直近の3つのセンサーのバージョンも、このメニュー項目に表示されます (図17)。

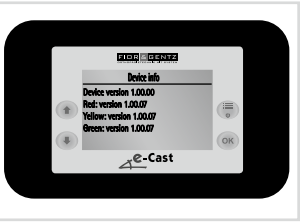

図17

8.4.6 Update sensors (センサーのアップデート)

オペレーター用デバイスをアップデートする際 (11項を参照)、センサーアップデートがある場合はそれも同時にダウンロードされます。メニュー項目**Update sensors (センサーのアップデート)** で、アップデートがあるかどうかを確認できます。ここで、有効なセンサーそれぞれについてアップデートできます。複数の有効なセンサーがある場合は、オペレーター用デバイスにはセンサーが最大8つまで表示されます。アップデートがある場合は、項目を選択できます (例えば、**Update yellow sensor (黄色のセンサーをアップデート)**)。アップデートがない場合は、このメニュー項目は選択できません (図18)。アップデートがある場合は、センサーセットの3つのセンサーを必ずすべてアップデートしてください。

図18

8.4.7 Calibrate sensors (センサーの校正)

e-Castを使用した測定をできるだけ正確にし、測定値の誤差を最小限に抑えるため、すべてのセンサーを年1回およびバッテリー交換後に校正してください。校正を行うには、オペレーター用デバイスのメニューで**Settings (設定)** を選択し、メニュー項目**Calibrate sensors (センサーの校正)** を選択します (図19)。ここで、有効なセンサーそれぞれについて校正できます。複数の有効なセンサーがある場合は、オペレーター用デバイスにはセンサーが最大8つまで表示されます。

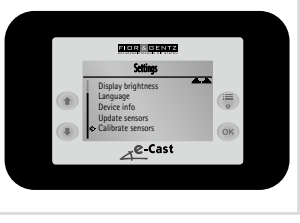

図19

さらに、その有効なセンサーが最後に構成されたのはいつか (例：**3 month(s) ago (3か月前)**)、またセンサーの校正が推奨されているかどうかが表示されます (図20)。さらに、センサーの校正の前にアップデートが必要かどうかを示すメッセージも表示されます。

オペレーター用デバイスの手順に従ってセンサーを校正してください。

校正が完了したら、他のセンサーに対して校正を繰り返し行うことができます。これを行うには、センサーを (振って) オンにし、メニュー項目**Calibrate sensors (センサーの校正)** で必要なセンサーを選択してください。

図20

9. 充電式電池の表示/電池の充電状態

9.1 オペレーター用デバイスの充電式電池の充電状態

オペレーター用デバイスでは、正しい足関節・膝関節ポジションを表示している際に、画面の右上に充電式電池の充電状態が表示されています (図21)。これは、オペレーター用デバイスの充電式電池の充電状態を示しています。充電式電池は、最大の表示明るさで約15時間使用できます。充電式電池の寿命を長持ちさせるには、表示の明るさレベルを下げてください。

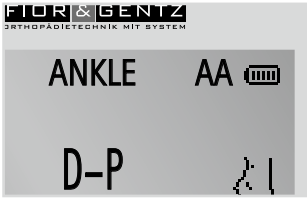

図21

9.2 センサーの電池の充電状態

オペレーター用デバイスでは、正しい足関節・膝関節ポジションを表示している際に、画面の左上に電池の充電状態が表示されています。ここには接続されている3つのセンサーの電池の状態が示されています (図22)。センサーが接続されていてオンになっているときに限り、この電池の充電状態が表示されます。センサーが接続されていないときや、オンになっていないときは、3つのXが表示されます (図23)。電池の残量がほぼ空のときは、この表示が点滅します。電池の寿命は約150時間です。

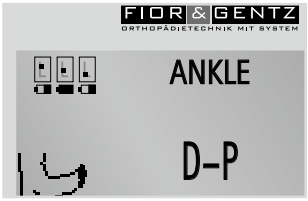

図22

輸送時にセンサーが起動するのを防ぐには、スリープモードにしてください。スリープモードにするには、センサーをケース内に収納する際、センサーが逆さまたは下向きになるように配置してください (7.3項も参照)。

図23

10. e-Castオペレーター用デバイスの充電

このオペレーター用デバイスには、充電式電池があります。オペレーター用デバイスを充電するには、同梱のケーブルおよびアダプターに接続してください。

11. e-Castオペレーター用デバイスのアップデート

新しいアップデートが利用可能な場合は、FIOR & GENTZウェブサイトのダウンロードセクションにある「Software Updates」(図24のQRコードを参照) で、同梱のケーブルを使ってアップデートできます (センサーのアップデートについては8.4.6項を参照してください)。オペレーター用デバイスが最新の状態であるかどうかを定期的に確認し、必要に応じて更新することをお勧めします。メニュー項目**Device info (デバイス情報)** で、オペレーター用デバイスにインストールされているバージョンを確認できます。オペレーター用デバイスをアップデートするには、以下の手順で行います：

図24

1 アップデートをダウンロードし、ファイルを開きます。
2 ケーブルを使って、オペレーター用デバイスをコンピューターに接続します。
3 アップデートプロセス中は、デバイスの電源をオフにしたり、ケーブルを外したりしないでください。
4 オペレーター用デバイスをオンにします。
5 アップデートがある場合は、「Currently connected to ET3400-T version XXX. Device can be updated to version XXX. (ET3400-T バージョンXXXに現在接続されています。デバイスはバージョンXXXにアップデート可能です。)」というメッセージが表示されます。デバイスがアップデート済みの場合は、「Currently connected to ET3400-T version XXX. Device is up to date.(ET3400-T バージョンXXXに現在接続されています。デバイスはアップデート済みです。)」というメッセージが表示されます。

12. e-Castオペレーター用デバイスの汚れ除去

オペレーター用デバイスをきれいにするには、湿らせた布を使用します。デバイスを流水にさらさないでください。型を作製する際は、オペレーター用デバイスをラップフィルムで包んで、乾燥と清潔を保つことをお勧めします。

13. e-Castセンサーの汚れ除去

センサーは、湿った布で拭くか、流水で洗い流すことができます。ただし、水中には浸さないでください。センサーを消毒することも可能です。

14. 作製技法に関するアドバイス

e-Castを使用する手順については、**e-Cast**ケースに含まれている折りたたみポスター (図25のQRコード参照) も参照してください。

ネガ型作製の一般的な技法についての情報は、FIOR & GENTZウェブサイトの「Online Tutorials (オンラインチュートリアル)」のセクションにも掲載されています (図26のQRコード参照)。

図25

図26

15. 新規測定の際の簡単ガイド

1 メニュー項目**New measurement (新規測定)** に移動し、新規または以前作成した患者データを選択します。新規の患者データの場合は、作製する装具のタイプ (KAFO、AFO、KO) と、どちらの脚か (左/右) を指定します。以前作成した患者データの場合は、**Use connected sensors (接続されているセンサーを使用する)** または**Search for new sensors (新しいセンサーを探す)** を指定します。
2 患者のイニシャルを保存し、オペレーター用デバイスがセンサーと接続されるまで待ちます。
3 患者の脚を水平なポジションに保ち、つま先を上向きにします。足は外旋位にします。**OK**を押します。
4 患者に通常の姿勢で立ってもらい、**OK**を押します。
5 Continue (続ける) を押して、型の作製を開始します。足関節と膝関節のポジションが表示されます。矢印ボタンを使って、足関節と膝関節の表示を切り替えることができます。ドットが中央にある場合は、正しいポジションに達しています。

16. 記号とマーク

電子機器を家庭ごみとともに廃棄しないでください。本機器および付属品は、電子機器向けの公式な配送場所で廃棄してください。

保管/輸送時の温度限界値

17. 廃棄

この製品は他の廃棄物と一緒に捨てることはできません (図27)。本機器および付属品は、電子機器向けの公式な配送場所で廃棄してください。

図27

18. 法的情報

本製品を購入することにより、当社の業務取引・販売・納入・支払に関する一般規約（General Terms and Conditions of Business Transactions, Sales, Delivery and Payment）が適用されます。

当社は、電池の取り扱いおよび管理に関する遵守状況を確認することができないため、電池に起因するいかなる損害または費用についても、一切の責任を負いません。

この使用説明書に記載されている情報は、印刷時点において有効です。記載されている製品情報はガイドラインとして使用するためのものです。技術的な変更が行われることがあります。

この使用説明書の全体またはその一部の、特に配布、複製、翻訳に関するすべての著作権は、事前にFIOR & GENTZ Gesellschaft für Entwicklung und Vertrieb von orthopädietechnischen Systemen mbHの承認を受ける必要があります。印刷、コピー、その他の電子的複製は、たとえ部分的であっても、書面による事前のFIOR & GENTZ Gesellschaft für Entwicklung und Vertrieb von orthopädietechnischen Systemen mbHの承認なしでは許可されません。

FIOR & GENTZ

PB3400-WE-JP-2025-06

CE

FIOR & GENTZ
Gesellschaft für Entwicklung und Vertrieb von orthopädietechnischen Systemen mbH
Dorette-von-Stern-Straße 5 21337 Lüneburg (Germany)
+49 4131 24445-0 +49 921 95659554
info@fior-gentz.de www.fior-gentz.com